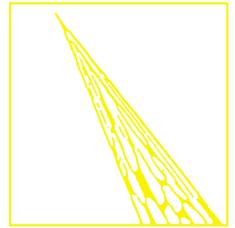




LIAISON



Vol.26 No. 1 / 2 Sept. 2000

生命科学系ジャーナルと医学分館



新医学分館長（平成12年4月～）

原爆放射能医学研究所教授

小松賢志

はじめに

人類の月着陸にも匹敵する大偉業とクリントン米大統領がヒトゲノムの解読を宣言したのは今年の6月26日である。これを受けて製薬会社は薬剤感受性の個人差に関連するゲノム単一塩基変異 SNP などの解析にのり出した。また、文部省はゲノムを中心とした特定領域Cを新たに設定して国が重点的に推進する方針を打ち出した。まさに官民こぞっての生命科学研究の重点化であるが、この結果、研究者間の競争も一段と激しくなっている。ある身近な研究者がヒト遺伝病の遺伝子クローニングを発表したところ世界3ヶ所のラボで同じ内容が同時に公表され、もし1ヶ月遅れていたらそれ迄の5年間の努力が無に帰するところであった例がある。BRCA1 という乳がん遺伝子のクローニング競争には世界で50ヶ所以上のラボが参入したといわれている。研究分野によっては1月といわず週単位で、ライバル研究者の論文がジャーナルに掲載されていないかどうかを確認しては安堵する研究者受難の時代であろう。研究者だけでなく大学法人化や大学院重点化(差別化)の方針は広島大学が研究大学として競争に生き残る

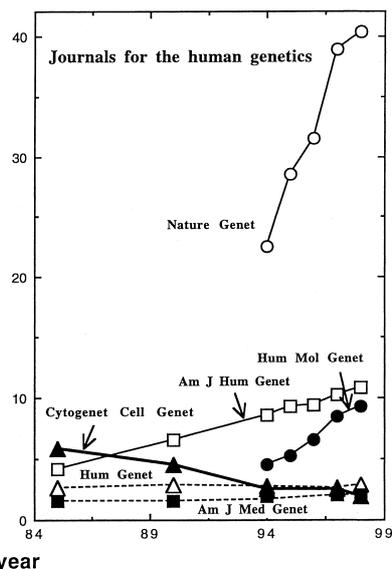
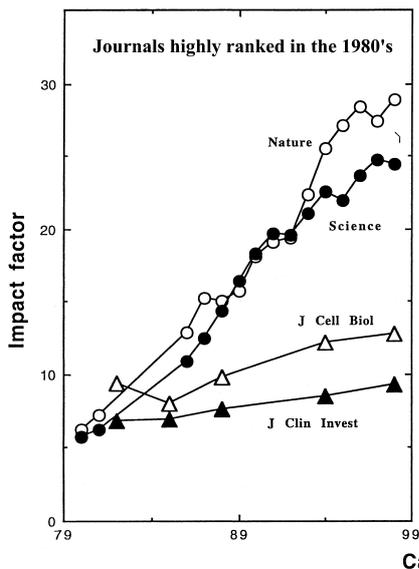
ために従来に増して機能的な教育・研究支援体制が必要な時代に入りました。本稿ではそのような支援機関としての医学分館とその主体である生命科学系ジャーナルについての私見を述べる。

インパクトファクターからみた生命科学系ジャーナル

インパクトファクター（IF）とは、例えば1998年のあるジャーナルのIFは、1996年と1997年の過去2年間に発表されたそのジャーナルの論文数を分母として、それらが1998年の他のすべてのジャーナルに引用された総件数（分子）を割った値である。発表された論文がその後他の論文で引用されることは、研究の進展に貢献したものである。客観的評価として広く普及しているが問題がないわけではない。例えば Clin Res は学会抄録と原著論文を掲載しているジャーナルである。引用回数（分子）には抄録が含まれていたが原著論文（分母）としては数えられていなかったためにIF=66と間違った高値が公表された事があった。また研究者は自著論文の文献として引用論文数を抑えてレビュー誌を代表させる傾向があるために、一般

目次

生命科学系ジャーナルと医学分館.....	1
附属図書館東千田分室の新築オープン.....	3
広島大学「斯波文庫漢籍目録」編纂刊行・画像データベース公開について.....	6
附属図書館ホームページ新着情報.....	8
1 広島大学学位論文一覧	
2 森戸文庫蔵書目録	
平成11年度附属図書館主要行事等報告.....	13
平成11年度図書館統計.....	15
トピックス.....	16
編集後記.....	16



的にレビュー誌は非常に高いIFを示す。原著論文の Science や Nature(いずれも総合科学誌であるが内容は生命科学系論文が圧倒的である)の1980からのIFを図(左)に示した。両ジャーナルとも現在はIFの非常に高いので有名であるが、80年代当時のIF=5はJ Cell Biol.などの著名な専門誌と同程度あるいはそれ以下であった事がわかる。しかし、その後両ジャーナルのIF値は急激に増加している。IF値という誰にもわかりやすい一般的指標でジャーナルが評価されるようになれば、研究者が論文投稿する際に出来るだけ高いIF値のジャーナルを選択するようになる。またIF値は読者が定期購読を決める因子として、学会誌であればその研究影響力に、商業誌であれば売行きに直接ひびく事から編集者は高いIF値を維持するために必死である。

図(左)で Nature や Science のようなニュース性に富む総合科学雑誌のIF値に比較して専門誌が不利かといえば、必ずしもそうではない。私の関係する人類遺伝学分野で比較すると、Nature Genet. は1992年に創刊された後に急激にIF値が上昇して、現在では生命科学系のトップジャーナルである。ゲノム全盛時代にあって、同時期に創刊された Hum Mol Genet. や歴史の長い Am J Hum Genet. も着実にIF値を伸ばしている(図右)。しかし、同分野にあって Cytogenet Cell Genet. や Hum Genet.、Am J Med Genet. のIF値は増加していない。特に Cytogenet Cell Genet. は85年のIF=5.8から98年には1.8迄低下しており深刻である。IFが高値のジャーナルはますます繁栄し、低値のジャーナルは凋落する傾向が歴然とする。この両グループの違いは編集局の論文採択の基本方針もあるが、ここでは投稿論文手続きの迅速性に注目したい。Am J Med Genet. は伝統的な手紙による投稿やレビュー手続きを踏襲している。これに対して、Nature Genet や Hum Mol Genet. は創刊時からインターネットやファックスによる予

備投稿段階での採択の可否やレビュー手続きを行っている。最近、Am J Hum Genet も論文レビューなしに編集局で拒否出来る裁量権やファックスによるレビュー手続きを開始した。投稿者の研究競争とジャーナルのIF値による評価、そして最近のIT(情報技術)の進歩が論文審査をますます早めている。

医学分館の課題

ジャーナル側は論文審査の迅速性を重要視しているが論文投稿者を支援する図書館側のシステムはどうであろうか。時差の関係でインターネットやファックスの返事は夜になることが多い。関連ジャーナルを調べようと思っても図書館は既に閉まっており、また相互貸借による手続きには明朝迄待たなければならないのが実状である。開館時間延長や著作権の問題を解決して複写文献のインターネットによる伝送(既にソフトは開発されているらしい)を真剣に考慮すべき時期である。今後の大学院のあり方としての社会人入学や昼夜開講に対応するためにも開館時間延長は是非整備すべき事項である。一方、最近のオンラインジャーナルや医学・生命科学の市販ビデオ教材の普及や、霞メディア情報ネットワークにみるVODによる学習教育支援計画のためにも図書館のIT対応は急務となっている。しかし、ジャーナル類が廊下や分館長室にまで溢れている医学分館の現状ではこれらの課題の解決以前に狭隘面積の問題を何とかしなければならぬ。1992年に保健学科新設と続く大学院整備で文部省規準の面積よりも大幅に不足している医学分館では国家試験(医師、歯科医、薬剤師、看護婦など)対策時期には閲覧席は溢れ、その不足は合格率にも影響するのではないかと心配してしまう。医学分館の増改築の必要性をこの場を借りて是非御理解頂きたい。

生命科学の活発な研究は新しい研究分野の台頭も促している。この数年間で Cell から3誌、Nature から7誌の重要な姉妹ジャーナルが刊行された

が、限られた分館経費でこれらの新刊ジャーナルを購入しようとするれば既存ジャーナルの購読を中止せざるを得ない。購読の継続性は確かに重要であるが、IF 値などを指標として長期的視野でのジャーナルの興隆衰退を研究者に知らせ納得して貰う作業も必要ではないだろうか。一方、医学分館から約 1 km 離れた放射線影響研究所の図書室には豊富な生命科学系ジャーナルが揃っており、私自身もコピーを取りにたびたび伺った経験がある。これら地域図書館とのインターネットによる提携はお互いの経費節約と利用図書数の大幅な増加を可能にする。また、最近定着してきた大学市民公開講座では多くの市民が熱心に聴講して感銘を受けるが、残念ながら講座終了後にさらに勉強する手段がない。受講者には大学図書館を開放するなど、大学の閉鎖性が問われているこの時期に地域市民及び図書館との連携を模索すべきではないだろうか。

おわりに

主としてジャーナルの迅速性の立場から述べた

が、真に独創的な研究は競争だけに依るものではない。そして大学図書館の機能として学習の場の提供が重要なものももちろんである。New York Public Library はニューヨーク市に85の分館を配置し、狭く騒々しいアパートに住む市民に学習の場を提供している。その堂々たる本館建物はニューヨーク観光コースにもなっているのを見学された方も多いと思われる。1年間の入館者が1,600万人といわれるが、最近はこれに加えてインターネットによる訪館者が数百万人と推定されている。電子図書館機能や、職安と提携したオンライン職業案内、成人病や感染症など各種病気の説明や医師の探し方と治療費などオンライン医療情報などのウェブサイトの充実が目立つ。後者は将来医学分館が市民サービスを開始するときに参考にすべき内容である。広島大学にあっても伝統的な図書館機能と調和のとれた IT 対応の最新機能が、医学分館を研究大学にふさわしい支援機関としてさらに発展させると期待する。

(原稿作成に協力頂いた田中千佳(医学分館) 森島賢一(大学院生)両氏に感謝します。)

附属図書館東千田分室の新築オープン

附属図書館東千田分室が平成12年7月1日、広島大学東千田総合校舎内に新築オープンしました。

経緯

東千田分室は平成7年度からの夜間主コース開設に伴い、同コースを対象とした図書館利用サービスを行うため、平成7年4月東千田キャンパス旧教育学部の1階に仮設され、翌平成8年4月に旧大学会館1階に移設、以来仮設の状態で行って来ました。その間スペースの制約等から座席数40席、収容図書資料1万6千冊の設置が限度で狭隘な環境の中での利用となり、利用者にとっては大変不便な状況が続いていました。そうした中、新東千田分室を含めた広島大学東千田総合校舎の新築が決定し平成11年6月29日に着工、平成12年5月31日には建物が竣工しました。竣工後、約1ヶ月間の移転準備作業の後、6月26日～30日に移転を行い、7月1日に待望の新東千田分室がオープンしました。

施設の概要

新東千田分室は総合校舎1階で玄関を入って右手の法学部・経済学部事務分室に隣接した場所にあり、南に面し利便性ととも学習環境が大きく改善され、利用者にとって学習し易い環境となっています。



玄関

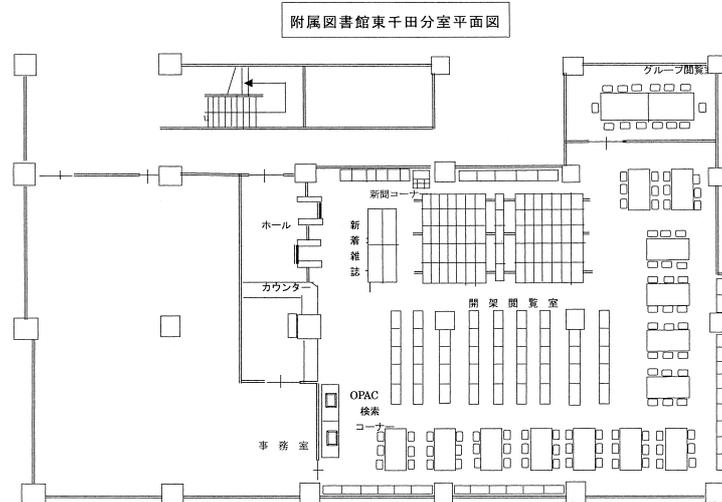


玄関ホール

座席数が92席、収容可能冊数が約4万5千冊、事務室を除いたスペースが464㎡で、旧東千田分室の2倍強の規模となっており、開架閲覧室、新聞コーナー、新着雑誌コーナー、OPAC検索コーナー、グループ閲覧室から構成されています。

分室の玄関を入ると他の図書館と同様に入館装置が設置されており、学生証を装置に読みとらせゲートをオープンして入館する方式を採用しています。

分室のレイアウトは次の平面図のようになっています。



次に各コーナー等の概要を簡単に紹介します。

(1) 開架閲覧室

閲覧席は78席。書架は固定書架のほかに収容冊数を高めるため集密書架を併設しています。

収容冊数は一般図書換算で

固定書架：約1,500冊

集密書架：約30,000冊

となっています。現在、備え付け図書は16,000冊ですが、年度内には中央館所蔵の法学部・経済学部返却図書の重複図書の中から2,3千冊程度の図書を選別し、東千田分室の資料整備に充てる計画です。ご期待ください。



閲覧室風景

(2) 新聞・新着雑誌コーナー

新聞コーナーはソファー 6 席を設置し、以下の 6 紙の新聞が備え付けられています。

- ・朝日新聞 ・毎日新聞 ・中国新聞 ・中国新聞(夕刊)
- ・日本経済新聞 ・Japan Times

新着雑誌コーナーは和雑誌62誌が備え付けられています。年度内にはさらに十数誌の和雑誌が新たに整備される計画です。



新聞・新着雑誌コーナー付近

(4) OPAC検索コーナー

インターネットによる検索端末 2 台が設置されています。学内の図書雑誌所蔵情報の検索、全国の大学図書館の所蔵検索 (NACSIS Webcat) 等ができます。



OPAC検索コーナー

(5) グループ閲覧室

旧東千田分室にはなかった新設のスペースでグループによる研究または学習等のためのスペースです。座席は14席設置されています。

以上、新しい東千田分室の概要について紹介しました。東千田キャンパスにおいて長い間の念願であった新しい図書分室のオープンにより、ハード面における学習環境は大幅に改善されたと思っておりますが、今後は中途でもふれたような資料の整備充実化、複写機の増設による利便性の向上、学内の各図書館や他大学図書館との相互利用サービスの活用による情報取得機能の充実化などソフト面での充実化を進め、利用者みなさんの学習支援という図書館の役割を果たしていく必要があります。今年度より大学院社会科学部研究科マネジメント専攻も開設され東千田分室への期待はますます高まっており、ソフト面の充実化は早急に果たしていかなければならない課題と考えています。



広島大学「斯波文庫漢籍目録」編纂刊行・ 画像データベース公開について

医学分館図書館専門員 吉田 二美恵

昭和63年度から開始した「広島大学斯波文庫漢籍目録」の編纂刊行事業が、本年3月終了したので、ここに概要を紹介する。

「斯波文庫」は、元広島大学文学部教授故斯波六郎博士旧蔵の中国六朝文学を中心とする1,387点、9,720冊からなる今日では入手し難い貴重な漢籍資料のコレクションである。その蒐書の幅広さと質量ともに優れた蔵書であることから、学内外の研究者から目録刊行を求める要望が強くだされていたコレクションである。附属図書館では、中国古来の伝統的な目録法である四部分類法による目録の編纂・刊行を計画した。

まず、漢籍資料の整理及びその取り扱いに関する技術を習得するため、東京大学東洋文化研究所東洋学文献センターの指導のもと職員を養成すると共に、研究者の学問的な利用に堪えうる漢籍目録の作成を目指し当作業を進めてきた。以来十数年、統合移転による作業の休止、漢籍目録固有の難問等紆余曲折を経て、平成12年3月編纂刊行事業を終了、目録の出版と同時に当館のホームページ上で画像データ（PDFファイル）として公開することとなった。



張守校正本六家文選
(明の項元汴ほかの蔵書印がある)

斯波六郎教授略歴

斯波六郎教授は、大正15年京都帝国大学文学部支那語学・支那文学科をご卒業、その後大学院に進まれ、昭和4年4月広島文理科大学の創設とともにご着任になった。以来、昭和32年3月定年により退官されるまで、28年間もの長きにわたって、広島文理科大学・広島高等師範学校・新制広島大学において、漢文学・中国文学の講座を担当され、多くの後進を育成された。

斯波教授のご専門は中国六朝文学、とりわけ梁の昭明太子の編にかかる『文選』の研究である。斯波教授を先達として形成された本学における六朝文学研究の伝統は、広島「文選学」として広く知られるところである。斯波教授の多々あるご業績の中で、今後将来にいたるまで後進を裨益して止まないものが、京都大学人文科学研究所から刊行された『文選索引』全4冊である。世界に先駆けて編纂された『文選』全文の一字索引である本書は、中国文学研究の一大金字塔であるといっても過言ではない。斯波教授は昭和17年「文選李善注所引尚書攷証」により、文学博士の学位を授与されている。

「斯波文庫」について

本文庫の特徴について述べるならば、まず第一に、いうまでもなく中国六朝文学、なかでも『文選』及び梁の劉勰の文芸理論書『文心雕龍』のあまたのテキストである。斯波教授はその『文選索引』の巻頭に論文「文選諸本の研究」を付しておられるが、そのうちで「家蔵」と記された版本をここに見ることができる。なかには教授ご自身が書き入れをなされたものもあり、その研鑽の様を偲ぶことができる。

第二としては、その蒐書の幅広さがあげられる。斯波教授の専門は六朝の文学であるが、その蔵書は決してその範囲のみにとどまるものではなく、中国の伝統的な図書分類法である経史子集及び叢書の各部にわたり、まんべんなく書物が集められている。個人でこれだけの質量ともに優れた蔵書を蒐集されたことは、教授の書物に対する並々ならぬ愛着とともに、学問に対する厳しい使命感をうかがうことができる。

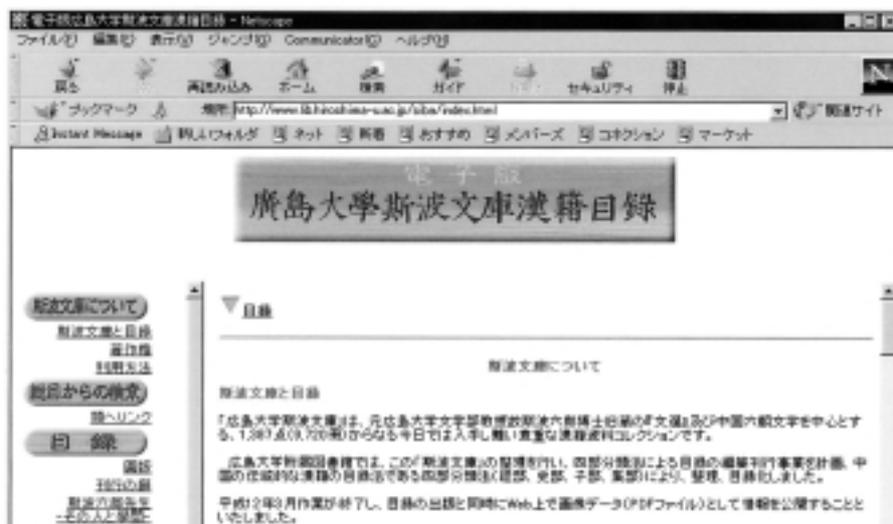
その第三として、ご蔵書の中には、わが国江戸時代の学者による中国語助辞の研究書が実に多く集められている点である。中国古典の文字について研究書を丹念に蒐集されておられることは、一字をもゆるがせにしない厳格な読み方を指導された教授の姿勢を反映するものといえる。

斯波教授の経歴・著述等については、本書「斯波六郎博士略歴」、「斯波六郎先生 - その人と学問」を参照願いたい。

目録の出版と画像データベース公開

目録の入力データをPDFファイルによる画像データとして、図書館ホームページに公開している。利用方法など詳細は以下のURLに直接アクセスしていただきたい。

URL <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/siba/>



Web上での目録の検索方法

目録構成（総目）からの検索

必要な項目を選んで表示させる方法（経部以下分類部分は類まで検索可能）。

圖版	刊行の辭	斯波六郎先生	- その人と學問 -
斯波六郎博士略歴		凡例	總目
經部	史部	子部	集部
叢書部	新學部	附録國書	書名索引筆畫檢字
			書名索引

書名索引・画数からの検索（現在作業中）

「筆畫檢字」表の画数から、「書名索引」の画数のページへリンクし、更に、「書名索引」から本文のページへリンクする方法。

最後に、長きにわたりご指導賜った東京大学東洋文化研究所東洋学文献センターの関係者の方々、困難な事業を最後まで懇切にご指導賜った本学文学部の富永一登教授には衷心より感謝の意を捧げたい。

なお、本事業の実務は、吉田、長尾、尾崎、倉田、萱野、宮崎の各館員が担当した。

附属図書館ホームページ新着情報

1. 『広島大学学位論文一覧』が加わりました (2000.05.17 公開)

中央図書館では、旧制広島文理科大学時代からの「博士論文」を保存し、ご利用いただけてきましたが、これまでは検索手段が冊子体の目録のみでご不便をおかけしておりました。

今回、検索環境の改善を目指し、本学で授与された5,500件あまりの博士論文の一覧をホームページに公開することにしました。

[内 訳]

- 広島文理科大学(旧制)中央図書館に保存されている 207 件
- 広島大学課程博士(甲)第1号(1959.03.24 授与)～第2066号(1999.03.25 授与)
- 広島大学論文博士(乙)第1号(1961.02.27 授与)～第3219号(1999.03.21 授与)

[データ内容]

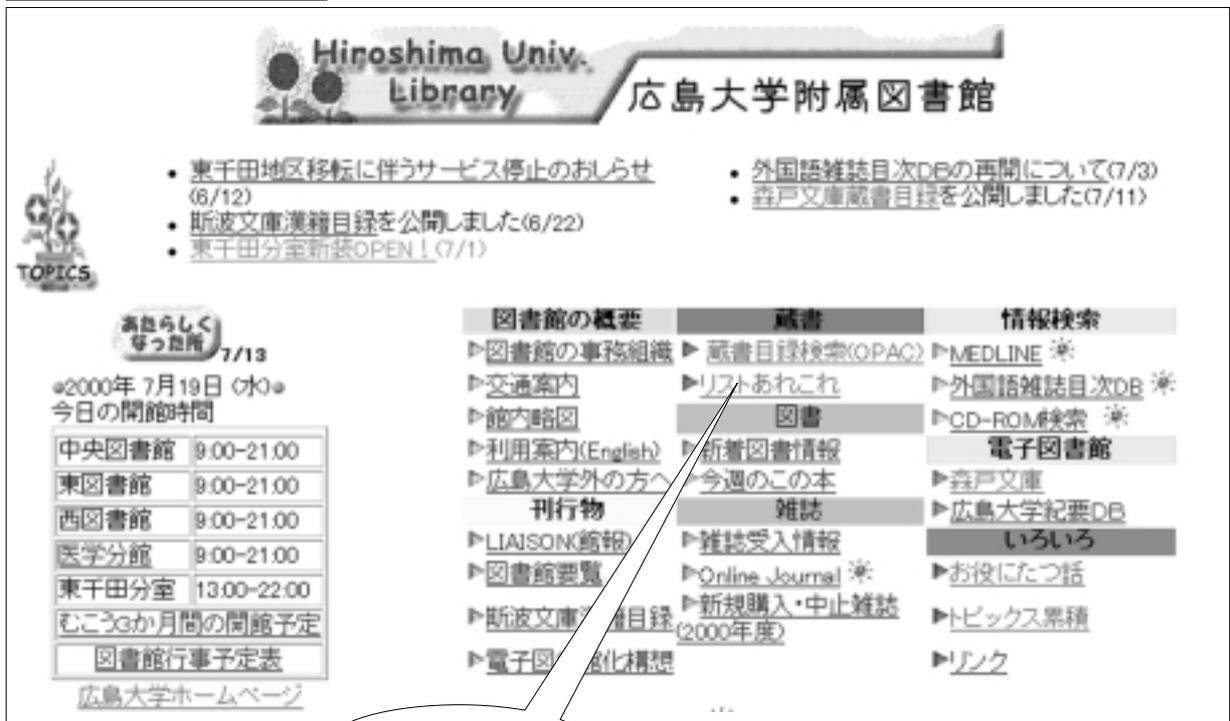
学位取得者名、学位取得者ヨミ、論文題目、学位の種類、学位授与番号、学位授与年月日、冊数外
*論文そのものは収録されていません。

[検索方法]

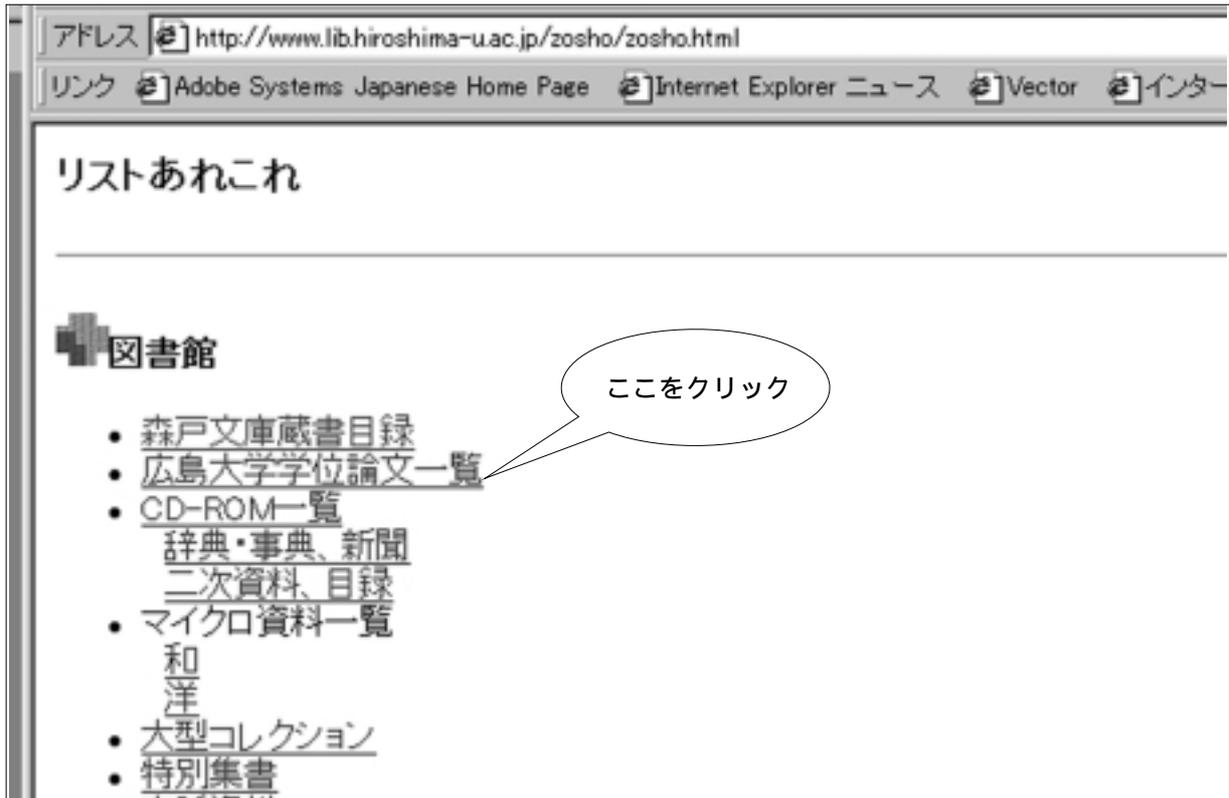
以下をクリックして下さい。

ホームページメイン画面の「リストあれこれ(図1) - 「リストあれこれ・広島大学学位論文一覧(図2) - 「Doctoral Thesis 広島大学学位論文一覧(図3)の画面で、「旧制」課程博士」論文博士」のいずれかをクリックして下さい。

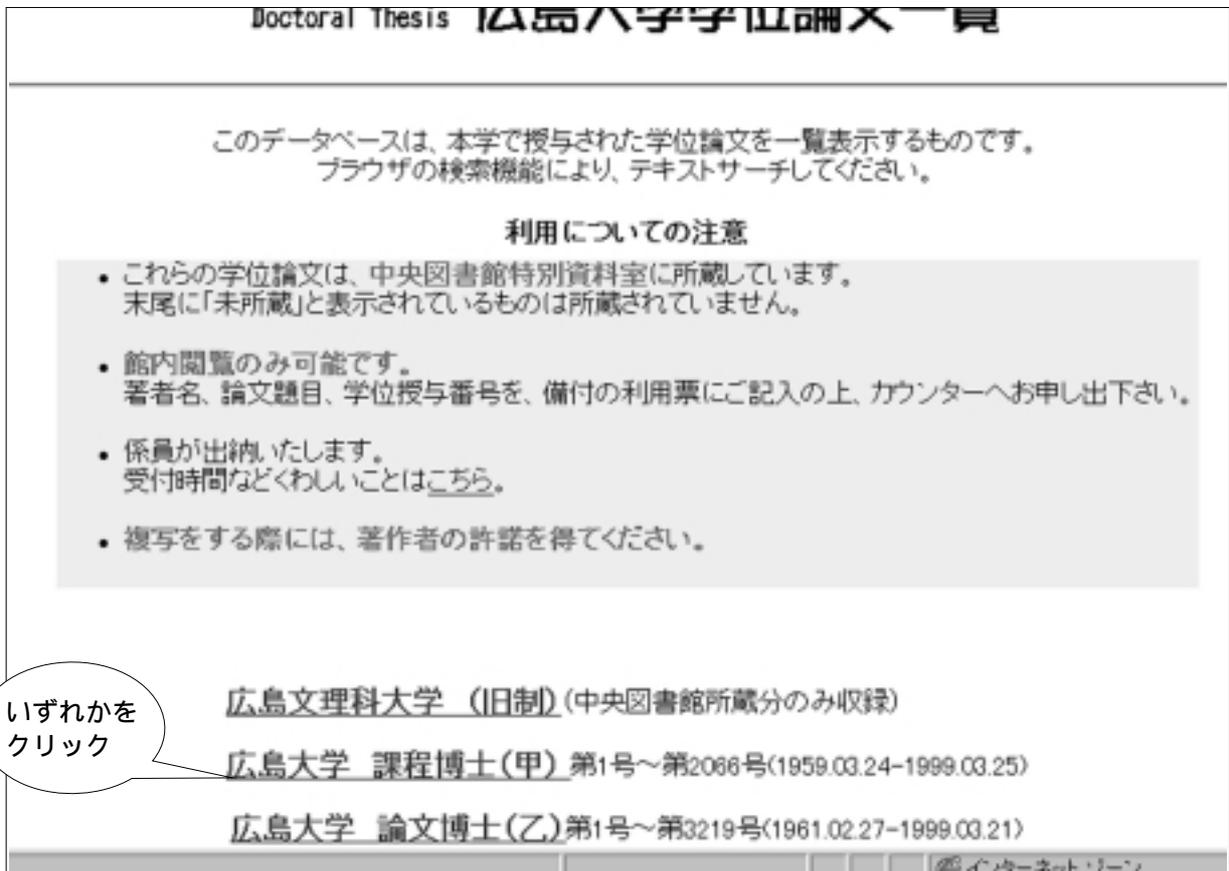
検索・表示方法



(図 1)

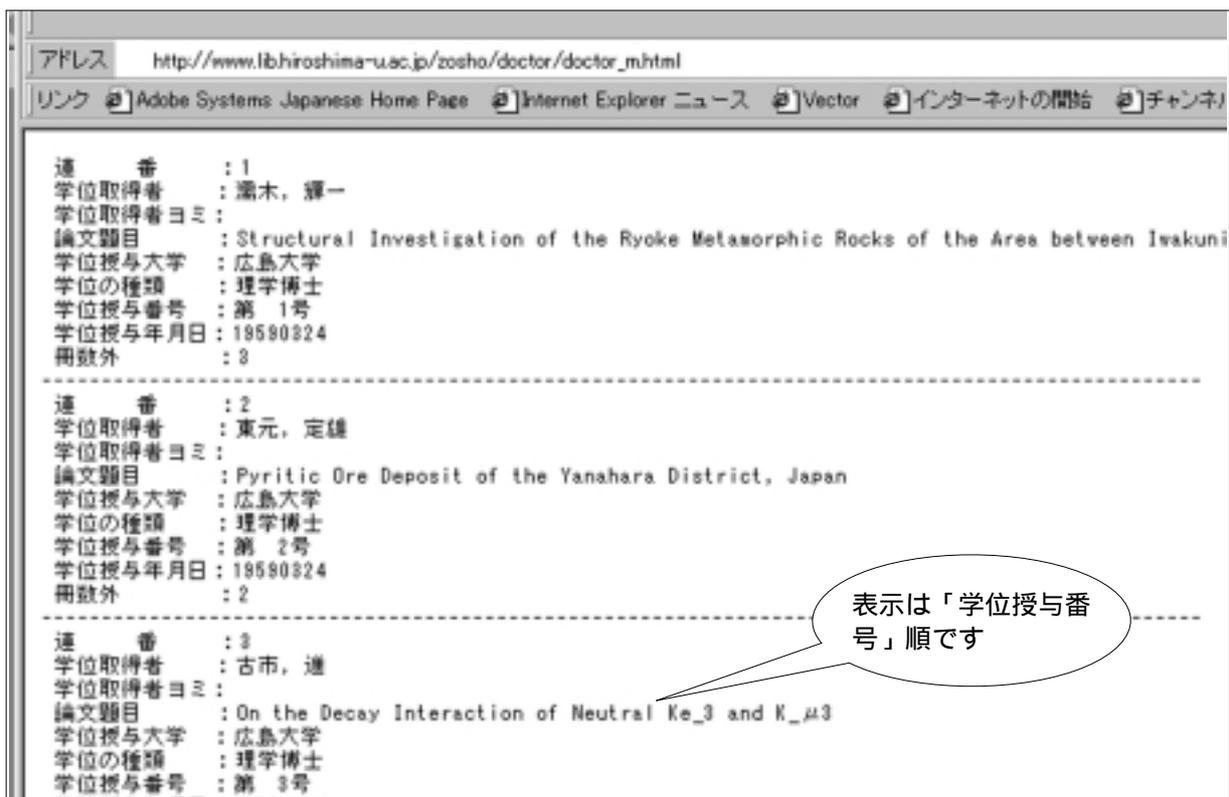


(図 2)

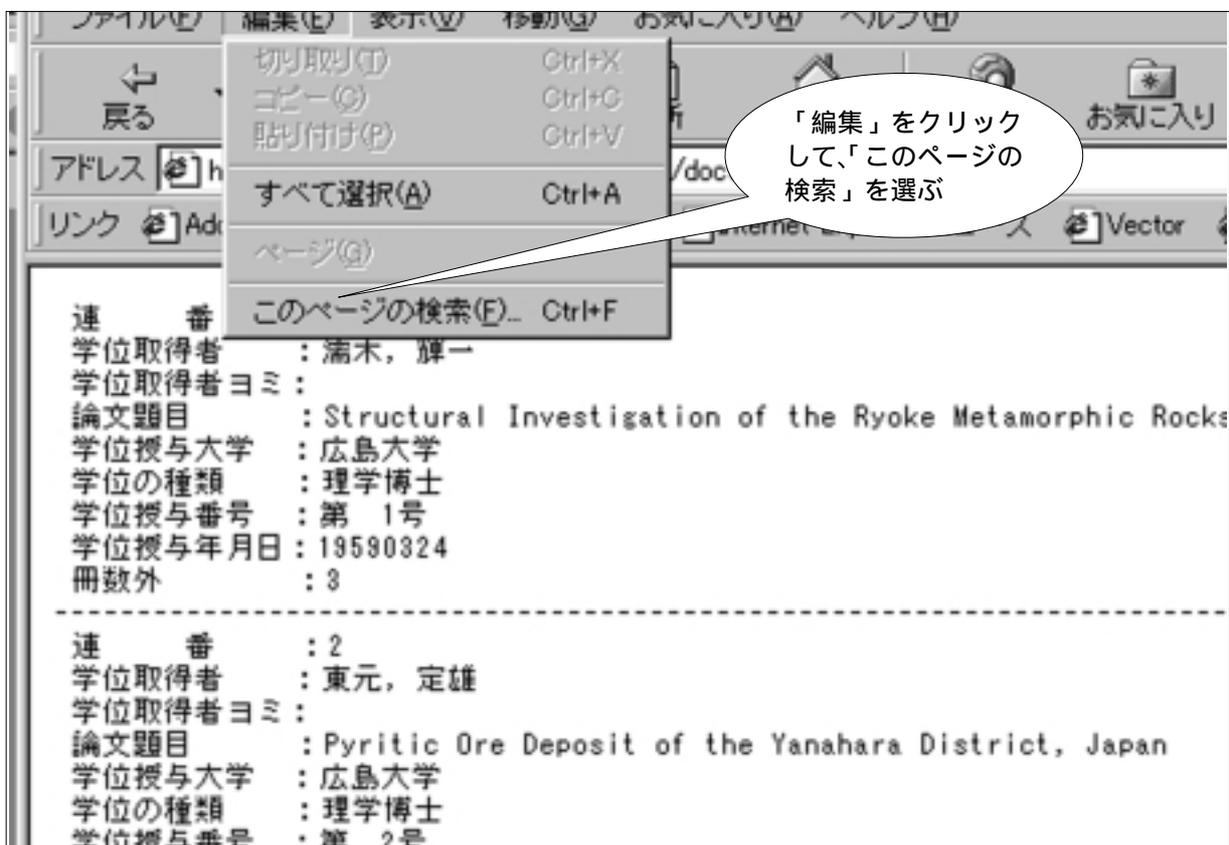


(図 3)

「課程博士」の一覧表示例



文字列検索は、ブラウザの検索機能を使用して下さい。
 下記は、Internet Explorer 4.0 の例です



「原田」で検索してみましょう

アドレス http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/zosha/doctor/Deko.txt

リンク Adobe Systems Japanese Home Page Internet Explorer ニュース Vector インターネットの開始 チャンネル ガイ

連番 : 1
学位取得者 : 黒木, 輝一
学位取得者ヨミ :
論文題目 : Structural Investigation of the Ryoke Metamorphic Rocks of the Area between Imakuni and
学位授与大学 : 広島大学
学位の種類 : 理学博士
学位授与番号 : 第 1号
学位授与年月日 : 19590324
冊数外 : 8

連番 : 2
学位取得者 : 東元, 定雄
学位取得者ヨミ :
論文題目 : Pyritic Ore Deposit of
学位授与大学 : 広島大学
学位の種類 : 理学博士
学位授与番号 : 第 2号
学位授与年月日 : 19590324
冊数外 : 2

連番 : 3
学位取得者 : 古市, 進
学位取得者ヨミ :
論文題目 : On the Decay Interaction of Neutral K_{e-3} and K_{e-4}

検索

検索する文字列: 原田

次を検索(E)

検索する方向
上へ(U) 下へ(D)

キャンセル

「原田」と入力して「Enter」キーを押す

リンク Adobe Systems Japanese Home Page Internet Explorer ニュース Vector イン

学位取得者ヨミ :
論文題目 : A Markov Model of Probability Learning
学位授与大学 : 広島大学
学位の種類 : 文学博士
学位授与番号 : 第 21号
学位授与年月日 : 19630325
冊数外 : 1

連番 : 22
学位取得者 : 原田, 康夫
学位取得者ヨミ :
論文題目 : 内喉頭筋機能に及ぼす薬物の影響
学位授与大学 : 広島大学
学位の種類 : 医学博士
学位授与番号 : 第 22号
学位授与年月日 : 19630325
冊数外 : 1

連番 : 23

本学学長「原田康夫」氏の学位論文にカーソルが移動

2. 「森戸文庫蔵書目録」が加わりました（2000.07.11 公開）

「森戸文庫」は、本学初代学長森戸辰男氏から寄贈された図書と文書からなるコレクションであり、中央図書館に保管されています。文書に関しては、本リエゾン vol.24 no.3/ 4 (Mar. 1999) でも、既に画像データベース化が完了し公開したことをお知らせしました。

図書資料についてもデータベース化を進めてきましたが、このたび終了し既に OPAC (オンライン蔵書検索サービス) での検索が可能となっています。

今回その図書データを図書館ホームページに公開したのは、コレクションとしての一覧を検索する便を考慮したものです。もちろんこのサイトから OPAC 検索も可能です。

なお、森戸辰男氏および「森戸文庫」の詳細については、ホームページの『電子図書館』に収録されている「森戸辰男関係文書解題 (総合科学部 小池聖一ほか執筆) をご覧下さい。

[内 訳]

和書 : 3 540冊

洋書 : 3 403冊

[データ内容]

連番、請求記号、資料番号、書名、著者名、巻次、版次、出版事項、シリーズ名等、頁数等、注記、資料配置

[検索方法]

以下をクリックして下さい。

- 1) ホームページメイン画面の「リストあれこれ (図 1) - 「リストあれこれ・森戸文庫蔵書目録 (図 2) 」
- 2) または、ホームページ画面の「電子図書館・森戸文庫 (図 1) - 「森戸文庫・森戸文庫蔵書目録」をクリックする
- 3) 「広島大学附属図書館 森戸文庫蔵書目録」画面で「和書」「洋書」「OPAC 検索」のいずれかをクリックして下さい。

文字列検索は、ブラウザの「編集」をクリックして「このページの検索」で行って下さい。

おわりに

「広島大学学位論文一覧」と「森戸文庫蔵書目録」のホームページ化について紹介してきました。

今後の予定としては、学位論文は論文原本が図書館に搬入された時点で、データの更新を行います。

なお、いずれも冊子体のリストを各図書館のサービスカウンターに備えておりますので、併せてご利用下さい。

これからの研究・教育に役立てていただければ幸いです。お気づきの点等は下記にメールをお願い致します。

洋書目録情報係 t-jkanri-yosyo@bur.hiroshima-u.ac.jp
(内線 : 6 2 0 8)

(洋書目録情報係 増元 弘信)

平成11年度附属図書館主要行事等報告

行事等

- 11.4.9.12 平成11年度図書館ガイダンス実施(2659名)
 11.4.19-23 学校教育学部美術科制作展(中央図書館展示コーナー)
 11.5.7 西図書館情報教育研究センター端末コーナー開設
 11.5.10 西図書館外国語教育研究センター第2自習室オープン
 11.4.16-5.12 平成11年度教養ゼミ「図書館利用案内」実施(1300名)
 11.7.27 学術情報センター新CAT/ILLシステム説明会(東千田校舎)
 11.8.30-31 ILLシステム地域講習会(中央図書館)
 11.9.1-3 目録システム地域講習会(中央図書館)
 11.10.1 校費による文献複写にプリペイドカード方式を採用
 11.10-11 電子システム及び二次情報データベースの無料トライアル参加(中国四国地区国立大学)
 11.11.4~12 広島大学50周年記念事業企画展「森戸辰男とその時代」(中央図書館展示コーナー)
 11.11.7 ウォークラリー図書館(中央図書館一般公開)
 11.11.17 学術雑誌総合目録和文編2000年版学内調査
 11.11.18 電子ジャーナル利用説明会(東広島地区)
 11.11.19 電子ジャーナル利用説明会(霞地区)

会議等(学内)

- ・附属図書館運営委員会 197(11.5.11)/198(11.7.6)/199(11.11.30)/200(12.1.25)/201(12.3.22)
- ・医学分館運営委員会 1(11.6.15)/2(12.2.22)
- ・図書館電子情報化専門委員会 10(11.10.26)
- ・人文・社会科学特別図書選定委員会 1(11.5.11)
- ・自然科学特別図書選定委員会 1(11.5.11)
- ・分野別図書館資料選定委員会委員長会議 1(12.3.8)

会議等(学外)

- 11.4.27 第47回中国四国地区大学図書館協議会総会(山口大学)
 11.4.28 第26回国立大学図書館協議会中国四国地区協議会(山口大学)
 11.5.20-21 第70回日本医学図書館協会総会(福岡大学)
 11.5.25 国立大学附属図書館事務部課長会議(東京医科歯科大学)
 11.5.26 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(東京大学)
 国立大学図書館協議会海外派遣者選考委員会(東京大学)
 11.5.27 国立大学図書館協議会公開事業実施委員会(東京大学)
 国立大学図書館協議会理事会(東京大学)
 11.6.23-24 第46回国立大学図書館協議会総会(東北大学)
 11.6.16 広島県大学図書館協議会総会(広島女子大学)
 11.7.30 中国四国地区国立大学図書館協議会地域共同サーバー検討WG(広島大学)
 11.9.8-9 遡及入力事業の進め方に関するワークショップ(軽井沢市)
 11.10.21-22 第35回日本医学図書館協会中国四国部会総会(愛媛大学)
 11.11.16 I S Iシンポジウム(大阪市)
 11.11.26 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(名古屋大学)
 国立大学図書館協議会理事会(名古屋大学)
 11.12.2 中国四国地区国立大学附属図書館に関する文部省ヒヤリング(広島大学)
 11.12.3 中国四国地区国立大学附属図書館事務部課長会議(広島大学)
 12.1.20 平成11年度国立大学附属図書館事務部長会議(群馬大学)
 12.1.13-14 第3回中国地区単身赴任者生活管理研究会(広島合同庁舎)
 12.1.27 北海道大学附属図書館講演会(北海道大学)
 12.3.17 大学図書館情報化担当者会議(学術情報センター)

研修等

- 11.4.6-9 平成11年度中国地区新採用職員研修(広島合同庁舎)
 11.5.12-14 平成11年度広島大学初任者研修(国立江田島青年の家)
 11.6.14-16 平成11年度広島大学中堅職員研修(国立江田島青年の家)
 11.7.12-31 平成11年度大学図書館職員長期研修(文部省)

- 11.9.14 広島県大学図書館協議会平成11年度第1回研修会(広島経済大学)
11.9.20-10.8 平成11年度第1回総合目録データベース実務研修(学術情報センター)
11.10.7-8 国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者会議(鳴門教育大学)
11.10.7 広島県大学図書館協議会平成11年度第2回研修会(福山大学)
11.10.21-22 第35回日本医学図書館協会中国四国地区部会総会(愛媛大学)
11.10.20-22 第40回中国四国地区大学図書館研究集会(鳥取大学)
11.11.11 学術雑誌総合目録と文編2000年版データ作成説明会(大阪市)
11.11.17-18 第12回国立大学図書館協議会シンポジウム(岡山大学)
12.1.23-31 情報の電子化及び電子図書館運用に関する諸問題の調査(UCLA他)
12.2.15-17 第5回中国地区主任研修(広島合同庁舎)
12.2.29 附属図書館館内研修会(中央図書館)
12.3.6- 学術情報センター目録システム地域講習会担当者連絡会議(学術情報センター)
12.3.9 図書館システムに関する打ち合わせ(核融合研究所)
12.3.9-10 平成11年度教養的教育の全学研修会(グリーンピア安浦)
12.3.24 マルチメディア著作権に関するフォーラム(国立民族学博物館)

刊行物

- ・広島大学ス波文庫漢籍目録 平成12年3月
- ・附属図書館利用案内 1999
- ・医学分館利用案内 1999
- ・GUIDES FOR USERS 1999
- ・リエゾン(附属図書館報) 25(1-4)

見学者等(来訪順)

- ・北海道大学・九州工業大学・京都大学・九州大学・東京大学・大阪教育大学・埼玉大学
- ・岡崎国立共同研究機構・名古屋大学・鳥取大学・一橋大学・筑波大学・富山大学・鹿児島大学
- ・信州大学・農林水産省農業研究センター・木田宏氏(元文部相事務次官)・森戸富仁子氏(故森戸辰男夫人)・東広島市「施設見学バス」40名・フランク・グリフィス氏(リーズ・メトロポリタン大学副学長)・フルブライトプログラム米国教員20名・銀河学院中高等学校30名

平成11年度図書館統計（平成12年3月31日現在）

1. 蔵書統計

	蔵			書		
	図書（冊数）			雑誌（種類数）		
	和漢書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,154,720	737,264	1,891,984	15,306	12,792	28,098
東図書館	172,561	143,855	316,416	4,233	4,529	8,762
西図書館	291,152	234,247	525,399	1,297	2,938	4,235
医学分館	95,582	101,855	197,437	3,918	4,521	8,439
東千田分室	15,889	71	15,960	109	0	109
合計	1,729,904	1,217,292	2,947,196	24,863	24,780	49,643

2. 年間受入数

	蔵			書		
	図書（冊数）			雑誌（種類数）		
	和漢書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	22,305	11,218	33,523	6,826	4,042	10,868
東図書館	2,207	3,071	5,278	2,061	1,376	3,437
西図書館	5,048	3,865	8,913	559	773	1,332
医学分館	2,192	2,450	4,642	1,279	932	2,211
東千田分室	648	1	649	77	0	77
合計	32,400	20,605	53,005	10,802	7,123	17,925

3. 入館者数

	入館者数		学生			教職員			学外者			計															
	中央図書館	東図書館	西図書館	医学分館	東千田分室	中央図書館	東図書館	西図書館	医学分館	東千田分室	中央図書館		東図書館	西図書館	医学分館	東千田分室											
中央図書館	384,950	101,635	273,312	156,717	32,974	85,354	31,271	39,950	16,916	2,802	6,050	1,617	2,165	3,548	144	829	93	199	294	156	92,233	32,981	42,314	20,758	3,102		
東図書館																											
西図書館																											
医学分館																											
東千田分室																											
合計	949,588					176,293		13,524		1,571																	

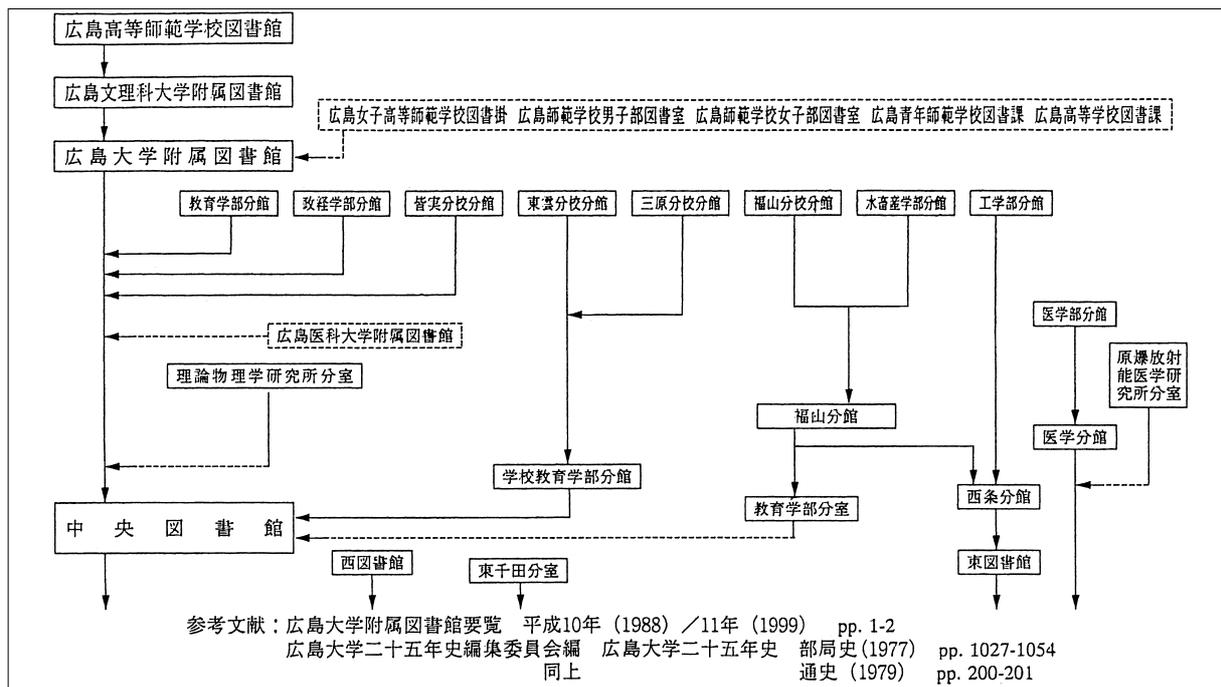
4. 貸出冊数

5. 文献複写及び現物貸借

	文献複写（件）		現物貸借（件）		中央図書館	東図書館	西図書館	医学分館	東千田分室	合計																		
	受付	依頼	貸出	借受																								
中央図書館	6,585	7,972	780	1,126	3,145	2,072	3,457	2,943	344	11,961	684	518	100	468	5	1,775	2,940	2,590	1,677	1,479	187	8,873	6,769	5,180	5,234	4,890	526	22,599
東図書館																												
西図書館																												
医学分館																												
東千田分室																												
合計	23,444	23,295	1,563	2,066																								

6. 参考業務統計

リエゾン Vol.25 No.3 / 4 (Mar. 2000) の p. 11 の図に誤りがありました。お詫びして、下記のとおり訂正します。



トピックス

(平成12年4月～8月末)

新入生を対象として図書館ガイダンスを実施
4月10日、11日新入生を対象に図書館ガイダンスを実施した。ビデオで図書館の利用方法を説明し、同時に利用者登録を行った。2484名の参加があり、96.5%の出席率となった。

教養ゼミの一コマとして図書館利用案内を開催
広島大学では、入学後の早い段階で、知的活動への動機づけを高め、科学的な思考法と適切な自己表現能力を育てることを目標とした教養的教育教養ゼミという授業(1年生前期2単位、必修科目)を、本年度各学部で都合238開設した。附属図書館では各担当教官から依頼をうけて、それぞれの1コマに「図書館利用案内」を実施した。四月から六月にかけて、28コマ分、新入生のほぼ7割の千七百人が受講した。

図書館のライブラリホールを使い、OPACの使い方、検索エンジンの紹介などをスライドを使って説明した。併せて図書館ツアーも行い、新入生は大学図書館の利用について学んだ。

二人の学士院賞受賞者ゆかりの書物展

広島大学はこれまで五人の学士院賞受賞者を出している。自然科学分野における、金属結晶研究の藤原武夫、カエル研究の川村智治郎、社会科学の分野における、中国社会構造研究の今堀誠二、そして人文学分野における、連歌文学研究の金子金治郎、角筆文献研究の小林芳規が

それである。小林芳規は恩賜賞を併せて受賞している。

図書館では、学術研究における金子、小林両氏の業績を顕彰し、広島大学の教育と研究をさらに発展させる目的で、6月14日～6月20日の間中央図書館玄関口にて、両氏ゆかりの書物を一カ所に集め、広く学生、教職員、その他一般社会人の方々にご覧いただいた。

東千田分室、新館オープン

東千田分室が、東千田キャンパス新総合校舎1階に移転し、7月1日(土)よりオープンした。面積が464㎡、閲覧座席数が78席の設備である。図書17000冊、雑誌80種類が利用できる。

社会教育施設実習コースの実習生4名を受け入れ

8月1日～8月7日の間、教育学部教育実習IID(社会教育施設実習コース)の実習生4名を受け入れて附属図書館での教育実習を実施した。実習生は3年次生が対象となっており、図書館で作成したカリキュラム(図書館の各業務の概要、館内業務の実習、電子図書館の展開講義等)に沿って実習が行われた。利用者サイドからみた図書館のイメージが今回の実習で図書館サービスを支えている見えない部分の業務を体験して非常によかったとの実習生の感想であった。この実習は来年度で終わる。

編集後記

コンピニに花火が出ると夏がくる。

6月の飲み会に1人が花火を持ってきて「さあやろう」と広島町の町中を歩き回りましたが、なかなかいい場所がありません。少しはずれた小さな公園で一本ずつ手に持ってみたものの、火花が散った先にはなんと地面に寝ている人が。「またやろう」と、一時預かりとなりました。

そのメンバーと会う度に話題になるのはそのこと。かといって、また町へ出てまたぶん適当な場所はない。とうとう、自宅マンションのそばの児童公園で花火パーティーを企画することに。7月8日は旅行に行ったり帰省したりと案外集まるのが難しかったけど、予定を繰り合わせ、お盆が終わった後の週末に決まりました。

当日、10人を越す人数と花火もたくさん集まりました。住宅そばの公園ですから打ち上げ花火はないのですが、滑り台からぶら下げて火花とともにぐるぐる回るもの、煙を噴きながらぐによ～と伸びていく蛇ダマ、地面において噴水のように火花を吹き上げる三角の派手なヤツ、振り回す人、投げる人、みんな大人のはずなのに、うちわ片手に大騒ぎです。最後は懐かしい線香花火を分け合っ

て輪になって静かに終わりました。
「もうすぐ夏も終わるね」「今年は暑かったね」「また遊ぼうね」「お疲れさま」
リエゾンの新しい号が出る頃は、お月見団子もすぎてコンピニには栗のお菓子がたくさん出るでしょう。箱のような家に住み、建物の中だけで仕事をし、買い物は夜のスーパーで済ませる暮らしでも、季節は移り変わり、新しい出会いや別れがあって、私たちの日々は巡ります。大人になって忙しいけれど、普通の毎日を大切にしたい、できるだけたくさんの小さな楽しい思い出で人生をいっぱいにしたいと思います。

また来年も仲間と花火ができますように。皆さんも一緒にいかがですか?(しょ)

広島大学附属図書館「リエゾン」 Vol.26 No.1 / 2 平成12年9月30日 発行

発行 広島大学附属図書館 〒739-8512 東広島市鏡山1丁目2-2 電話(0824)22-7111(代)

編集 広島大学附属図書館報編集委員会